

医行為レベルI: 指導医の監督下に実施させる項目
 医行為 レベルII: 指導医の監督下に介助・見学させる項目
 個別同意を得た場合は、学生の到達度に応じて、指導医の監督下に見学・介助が許容される。
 手技などの侵襲のある医行為の指導は、臨床研修指導医あるいはそれに準ずる能力を有する医師が指導する。
 外来診察中に羞恥的診察が含まれる場合は、その都度口頭同意を得る。入院患者の場合は、あらかじめ個別同意を取得する。
 入院患者を担当して診療に参加する場合は、あらかじめ個別同意を取得することが望ましい。

	医行為 レベル		包括同意で の見学	包括同意で の実施	個別同意で の見学・介助	備 考	
診察の基本	I	臨床推論	可	可	可		
	I	EBMに基づいた診断・治療計画立案	可	可	可		
	I	診療録作成	可	可	可		
	I	症例プレゼンテーション	可	可	可		
	I	医療安全の考え方等	可	可	可		
診察	I	医療面接	可	可	可		
	I	体位交換・移送	可	可	可		
	I	バイタルサインの確認	可	可	可		
	I	視診、触診、聴診、打診	可	可	可		
	I	簡単な器具を用いた診察 (聴診器、打鍵器、血圧計、耳鏡、鼻鏡、検眼鏡など)	可	可	可		
	I	小児の診察 (侵襲的・羞恥的診察を除く)	可	可	可		
	I	成人の診察 (侵襲的・羞恥的診察を除く)	可	可	可		
	I	高齢者の診察 (侵襲的・羞恥的診察を除く)	可	可	可		
	I	高齢者の診察(ADL評価、CGA)	可	可	可		
	I	基本的な神経診察(視力・視野・聴力・味覚・平衡感覚等を含む)	可	可	可		
	I	基本的な婦人科診察 (侵襲的・羞恥的診察を除く)	可	可	可		
	I	基本的な泌尿器科的診察 (侵襲的・羞恥的診察を除く)	可	可	可		
	I	直腸診察	可	不可	可	実習期間中にマネキン等によるシミュレーターでの実習を行うことが望ましい。	
	I	前立腺触診	可	不可	可		
	I	眼底診察(直像鏡を用いた)	可	可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	乳房診察	可	可	可		
	II	II	婦人科疾患の診察(内診等)	不可	不可	可	実習期間中にマネキン等によるシミュレーターでの実習を行うことが望ましい。包括同意で見学する際も、口頭での再同意を得る。
		II	妊婦の診察	可	不可	可	
		II	妊婦の分娩	可	不可	可	
II		泌尿器科的診察 (内診等)	不可	不可	可		
その他							
検査	I	心電図(体表)	可	可	可		
	I	超音波(体表)	可	可	可		
	I	経皮的酸素飽和度モニター	可	可	可		
	I	聴力、平衡、味覚、嗅覚検査	可	不可	可		
	I	毛細血管、静脈(末梢)からの採血	可	可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	尿検査	可	可	可		
	I	末梢血塗抹標本	可	可	可		
	I	微生物学的検査(G染色含む)	可	可	可		
	I	妊娠反応検査	可	可	可		
	I	超音波検査(心・腹部)	可	可	可		
	I	12誘導心電図	可	可	可		
	I	脳波検査(記録)	可	可	可		
	I	血液型判定	可	可	可		
	I	交叉適合試験	可	可	可		
	I	視力検査	可	不可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	視野検査	可	不可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	眼圧検査	可	不可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	色覚検査	可	不可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	細隙灯顕微鏡検査	可	可	可	学生同士での実施が望ましい	
	I	Point of Care Testing (ベッドサイドでの簡易検査)	可	可	可	検体採取については注参照	

	医行為 レベル		包括同意で の見学	包括同意で の実施	個別同意で の見学・介助	備考
	Ⅱ	内視鏡検査	可	不可	可	
	Ⅱ	筋電図	可	不可	可	
	Ⅱ	眼球に直接触れる検査	可	不可	可	
	Ⅱ	超音波検査(心・腹部)	可	不可	可	
	Ⅱ	エックス線検査	可	不可	可	
	Ⅱ	CT/MRI(実施の見学・介助・評価)	可	不可	可	
	Ⅱ	核医学(実施の見学・介助・評価)	可	不可	可	
	その他					
外科手技	Ⅰ	清潔操作	可	可	可	
	Ⅰ	手洗い	可	可	可	
	Ⅰ	ガウンテクニック	可	可	可	
	Ⅰ	縫合	可	可	可	
	Ⅰ	抜糸	可	可	可	
	Ⅰ	消毒・ガーゼ交換	可	可	可	
	Ⅰ	包帯交換	可	可	可	
治療	Ⅰ	気道内吸引、ネブライザー	可	可	可	
	Ⅰ	外用薬貼付・塗布	可	可	可	
	Ⅰ	末梢静脈確保	可	可	可	
	Ⅰ	尿道カテ挿入抜去	可	可	可	
	Ⅰ	胃管挿入	可	可	可	
	Ⅰ	注射(皮下皮内筋肉静脈内)	可	可	可	
	Ⅰ	一次救命処置	可	可	可	
	Ⅱ	穿刺(体表:嚢胞、膿腫)	可	不可	可	
	Ⅱ	中心静脈カテ挿入	可	不可	可	
	Ⅱ	動脈採血・ライン確保	可	不可	可	
	Ⅱ	腰椎穿刺	可	不可	可	
	Ⅱ	膀胱洗浄	可	不可	可	
	Ⅱ	ドレーン挿入・抜去	可	不可	可	
	Ⅱ	全身麻酔、局所麻酔、輸血	可	不可	可	
	Ⅱ	眼球に直接触れる治療	可	不可	可	
	Ⅱ	手術、術前・術中・術後管理	可	不可	可	
	Ⅱ	救命治療(二次救命処置等)	可	不可	可	
	Ⅱ	救急病態の初期治療	可	不可	可	
	Ⅱ	外傷処置(消毒・縫合・デブリードマン等)	可	不可	可	
その他	Ⅱ	眼科手術における局所麻酔	可	不可	可	
	Ⅱ	気管挿管	可	不可	可	
その他の 行為	Ⅱ	各種診断書・検案書・証明書の作成	可	不可	可	
看護的 業務		おむつ交換	可	可	可	
		食事、哺乳の介助	可	不可	可	
		坐浴、沐浴、清拭	可	不可	可	
その他						

医行為レベル I, II は、全国医学部長病院長会議資料等により医学部内で検討した。

Point of Care Testing

注 代表的な検査項目

動脈血液ガス分析・心疾患マーカー・電解質測定・尿検査・血糖測定・血液凝固検査・感染症検査など